

## 気高町体育館の老朽化について

1 施設概要

所在地 鳥取市気高町浜村 1 1 - 1  
構造 鉄筋コンクリート造  
面積 630 m<sup>2</sup> バレーボール 1 面 バドミントン 3 面  
整備年度 昭和 48 年

2 老朽化等概要

## (1) コンクリートの劣化

平成 22 年頃コンクリートの劣化が顕著となり、軒下天井部からコンクリート片が落下するため、応急対応として劣化したコンクリートを叩き落とした。平成 26 年度現在、軒下天井部分の鉄筋が曝露し、劣化が更に進行している。

## (2) 耐震化工事が必要

平成 22 年度 耐震診断結果 IS 値 0.15

## (3) 地盤沈下の進行

用地が軟弱地盤のため、基礎上に無い体育館周辺部分の地盤沈下が進行した結果、体育館躯体との段差が大きくなり、各所に大きなクラックが発生している。

## (4) 気高町中央公民館の振動現象

近年、隣接する気高町中央公民館で原因不明の振動現象が確認されている。体育館と通路でつながっており体育館の沈下の影響も考えられる。

《参考》気高町中央公民館

鉄筋コンクリート造 2 階建 878 m<sup>2</sup> 昭和 50 年竣工

平成 24 年度耐震診断結果 IS 値 0.40

3 使用中止について

教育委員会が平成 26 年度に実施した「市民体育館等再整備に係る基礎調査」の報告、及び財産経営課の技師による現地確認の結果を総合的に判断し、4 月 6 日より使用休止中。

(判断理由)

- ① 耐震基準を満たしていない
- ② 地盤沈下による、外階段、外壁、基礎等への影響
- ③ 老朽化による、外壁、軒等のクラックやモルタル剥離落下の危険性

4 使用中止中の対応について

気高町体育館を利用していた団体が、農業者トレーニングセンター及び勤労者体育館で活動できるように利用調整を図る。

5 今後の対応

施設の改修、存廃等方針の検討。

○気高町体育館の外観



体育館前景

